

What's SDGs?

エスディー・ジーズ

誰一人取り残さない持続可能な社会を実現するための世界共通の目標「SDGs」。2015年に、国連に加盟する193のすべての国が賛同し採択された17の目標で、2030年までの達成を目指しています。

あなたはどの目標が気になりますか？

SDGs: Sustainable Development Goals
(持続可能な開発目標)の略



身近にもあるWorld SDGs

SDGsは、世界中の誰かを思いやることで、私たちの心や暮らしを豊かにしてくれるガイドです。私たち一人ひとりがSDGsを“自分ごと”としてとらえ、考えて行動する。その日々の行動の積み重ねが、世界を変える大きな力につながります。



SDGs未来都市小田原の取組の認知を通じて、世界(未来)について考える(アクションする)ために作成したキービジュアルです。未来への想いが幾重にも重なっている状況をイメージしています。

Think
MIRAI
小田原から未来を考える

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

Think MIRAI
小田原から未来を考える

発行：おだわら SDGs 実行委員会
(事務局：小田原市企画政策課)
TEL 0465-33-1404
2026年6月改訂



Think MIRAI
HP

年 組

SDGs達成に向け
小田原市と共に！

おだわらSDGsパートナー

SDGsの達成と持続可能な地域社会の実現に向けて小田原市と共に取り組む企業・団体等を「おだわらSDGsパートナー」として登録し、現在パートナーは292者となっています。



おだわらSDGsデイ

「おだわらSDGsパートナー」は、それぞれのSDGsの取組を進めるだけでなく、市が主体となったSDGs普及啓発イベントに参加・協力するなど、小田原市と共にSDGsの推進に努めています。



みんなでSDGsを学ぼう！
～SDGsパートナーが先生に！

二宮尊徳の教え



郷土の偉人・二宮尊徳は、1787年に現在の小田原市栢山に生まれました。尊徳は、その後半生の多くを「報徳仕法」と呼ばれる独自の手法により、貧困にあえぐ人々の救済と荒廃した農村の復興に捧げました。その手ほどきを受けた地域は600か村に達したと言われています。

「報徳」とは、天地万物にはそれぞれの良さがああり、その良さをそれぞれが発揮し、社会の繁栄のために役立てることです。この精神は、持続可能な社会を目指すSDGsの考えと共通しています。



小田原市では、皆さんが今の生活を今後も安定的に送れるよう、様々な取組を行っています。その中から主なものを紹介します。

農産物・水産物の地産地消とブランド化



田植えを体験する子どもたち

ブランド化や加工品の開発、有機農業の推進など、農産物・水産物の価値を高めています。また、安全・安心な地元の産物を安定供給できるよう流通の仕組みづくりを進めます。



生態系の維持保全



酒匂川水系に生息する希少なメダカ

希少な動植物を守り育てる活動や、水、大気、地下水、土壌など環境保全の取組を市民、事業者、行政が一体となって進めます。



地域コミュニティの推進



子どもたちを見守る地域活動

少子高齢化や人口減少などの社会変化によって生じる地域の課題解決に向けて、主体となる地域を支援し協働で取り組むとともに、地域活動の場や、新たな担い手の確保を進めます。



エネルギーの地域自給に向けた取組の推進



市内の山中にあるメガソーラー発電所
(1日の発電量は約400世帯/日分)

地球温暖化を防止するため、地域ぐるみで省エネルギー化への取組を進めます。また、市民や事業者などが、地域資源である再生可能エネルギーの利用によるエネルギーの地域自給を進めます。



Think **MIRAI** & **SDGs**
小田原から未来を考える

目標を選び、それを実現するために自分ができる行動と、その行動が自分のまちや世界にどのようにつながっていくか考えてみよう。



自分のまちや世界の未来を考えてみよう

企業などで取り組んでいるSDGsを探してみよう

自分ができる行動

自分のまちや世界とのつながり

